

検証する対応案（４）－②「寒川第二小用地を活用した新宿小学校分校設置」

I 概要

- 1) 寒川第二小用地に新宿小の一部児童を受け入れる分校を設置する。
通学の利便性と児童の安全を考え、スクールバス通学を検討する。

II 検証項目

1) 円滑な学校運営

- ・新宿小学校は、27年度には37学級になると推計しているが、一部の学年を分校に受け入れることによって、教室不足を回避することができる。
- ・学年を分離することで、教育上、学校運営上の影響が懸念される。例えば縦割り活動などの学習形態を組むことや、全校集会が容易にできない、兄弟姉妹で別々の校舎になる、通学途上で新宿小と分校に向かう児童が交差するなど、学校としての一体感が希薄になる。また管理職や養護教員・専科教員の配置などの課題も多い。

2) 広域的な適正配置

- ・新宿小学校の過大規模校化の解消が可能である。

3) 安全な通学路

- ・新宿小学校から、寒川第二小用地まで片道2.6kmあること、朝夕の交通量が多いこと、地元ではない地域に通学することなどから、スクールバスの検討が必要である。

4) 学校と地域の関係

- ・新宿小学校区の児童が他の地域に通学することになるため、これまでのような自治会組織など、新宿小学校に対する支援体制等が期待できない。

5) 経費

- ・分校設置（常設増築型 鉄骨3階 2,500㎡ 普通教室12、特別教室3、図書室、職員室、事務室、会議室、給食室等）＊プール、体育館は設置せず。

概算費用

設計、工事費等 6.8億円

- ・スクールバス

条件 1日2回（朝夕）、年間約200日稼働、距離3km以内、大型バス使用、児童の送迎、運転員・燃料費等一切の諸経費を含む。

1台1日の概算経費 40,000円～45,000円（乗合バス）

65,000円～70,000円（観光バス）

費用（年間） 13,000千円～14,000千円

- ・将来、分校の必要性がなくなった場合の利活用の検討が必要。